テーマ	どのようにすれば若年就業者を組織に定着させることができるのか？

適用分野	人的資源管理、採用、企業内訓練

研究名称	若年就業者の組織適応を促進する施策の検討

氏名所属	尾形真実哉　教授 経営学部　経営学科

内容

●特徴

若年就業者の組織適応を促進する採用方法や企業内訓練とはどのようなものなのかについて、企業の採用担当者や教育担当者にインタビュー調査や質問票調査によって探究している。

●研究内容

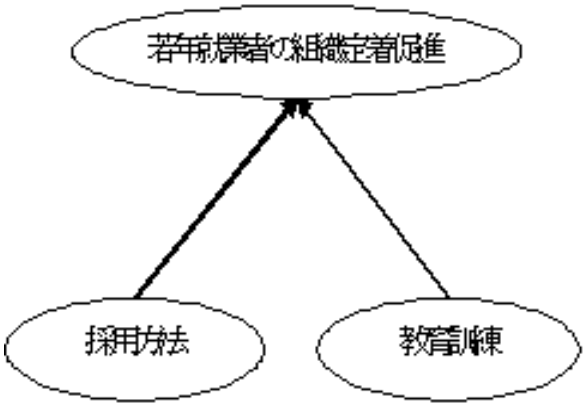
近年、七五三離職（中学・高校･大学の卒業後、３年以内に離職する割合は、それぞれ７割・５割・３割といわれている）やフリーター、ニートの増加が社会問題とされてきた。さらに、2007年問題と少子化問題で若年就業者の確保が重要な企業課題となっている。若年就業者は、未来の企業競争力を左右する重要な資産であるにも関わらず、その定着が問題となっている。それゆえ、若年就業者の組織適応を促進させる組織施策はどのようなものなのかを企業の採用担当者や教育担当者に対して、インタビュー調査と質問票調査を実施して探究している。

調査の結果、浮かび上がった発見事実として、日本企業には日本企業が置かれている環境要因や各企業独自の組織要因によって採用方法や教育方法が異なることが見出されている。そして、独自の採用方法や訓練方法を見出している企業が、新人の組織適応を促進する傾向があるということが示唆されている。

今後は、さらに、以下の２点について調査を行っていきたい。

・業績に結びつく優れた採用行動とはどのようなものか。

・新人の組織適応、能力開発を促進する企業内訓練はどのようなものか。



キーワード	若年就業者、採用、企業内訓練、七五三離職、フリーター、ニート、少子化

連携方法	■ 講演　■ 研修　■ 研究相談　■ 学術調査　■ コメンテート　■ 共同研究